

授業参観

5月15日(月)から18日(木)までの4日間、農大稲花小では授業参観が行われました。保護者の皆様にご来校いただいた授業参観は、新型コロナウイルスの蔓延もあり、2019年度以来はじめてです。毎日2コマ(2時間目、中休み、3時間目)に、各学級名簿番号順で毎日9名の保護者様にお出かけいただきました。当日、とくに学校としてのご案内やご挨拶を申し上げることはできませんでしたが、保護者の皆様のご協力により、平常の学習環境を保ちながらの授業参観を行うことができましたことに、御礼申し上げます。

この度の授業参観では、授業参観のための特別の授業をしたり、時間割を変更したりすることもいたしませんでした。そのため、ご覧になりたい授業科目ではなかったという保護者もいらっしゃるかもしれません。次回の授業参観以降、順次、曜日や時間帯の調整などを行い、ご覧いただく授業科目の偏りが少なくなるように努めることといたします。

お子様の授業での様子はいかがでしたでしょうか。学級としての集団の中で、ともに育つ学校です。またお子様の発達の手は皆、違って当然です。まず、お子様が元気に学校に通っていること、そして授業に楽しく参加していたことを、大いに褒めてあげていただければと思います。

稲に聞く

5月18日(木)、2年生の稲花タイムでは「稲に聞く」と題して、校長が授業を行いました。うるち米、もち米、赤米、黒米、緑米、インディカ米などいろいろな米があることを学び、藁や種籾も含めて、それらをワークシートに貼り付けて稲の標本を作りました。

また、当日だけ6年2組の空き教室に出現した「稲のはくぶつかん」を訪問し、外国のお米やお米の加工品、酢、油、アルコール、せんべい、もちなどお米からつくる食べ物やお菓子、藁からつくる草履やござなどを見たり触ったりしました。寿司桶としゃもじで寿司屋さんの気分を味わう子、農作業用の笠をかぶってみる子、おひつを見て「これは、たらいですか」と質問してくる子…と、元気な様子が見られました。

日本語では、稲、米、ご飯、さらに米にまつわる言葉や漢字がたくさんあります。一方、稲、米、ご飯の区別をせず一つの単語で表す言語もたくさんあります。学びはさらに広がります。農大稲花小の子どもたちの卒業までにはぜひ全員、「お米の博士」「稲の博士」になってほしいと思っています。



国際センターの完成

5月18日(木)、東京農業大学世田谷キャンパス整備お披露目式が行われ、関係大学の学長、協定大学のある国の大使、世田谷区長などのお客様が参列されました。世田谷キャンパスに先に完成し活用されているサイエンスポートに加え、この度、国際センターが完成したのを機に行われたお披露目式です。校長もお招きいただき、国際センターを見学しました。子どもたちが「榎本先生」と呼ぶ榎本武揚公にまつわる展示品のある榎本ギャラリーもあります。日頃から世田谷キャンパスをよく訪問する農大稲花小の子どもたちですが、次はぜひ、国際センターも見学させたいと考えています。なお、1階にはサザコーヒー農大店がオープンしました。どなたもご利用いただけるとのことです。保護者の皆様には機会がありましたら、どうぞお立ち寄りください。

マンゴー マンゴー マンゴー

5月15日(月)は2年生に、16日(火)は1年生に、東京農業大学国際農業開発学科志和地弘信教授が「ミニ食育講義 マンゴー」のお話をしてくださいました。マンゴーの生まれ故郷はどこか、マンゴーはどう栽培されるか、おいしくマンゴーを食べる方法など、楽しくお話を聞きました。子どもたちからは「マンゴーにはなぜ種がひとつしかないのですか」「なぜ、マンゴーの故郷は暑い国なのですか」など、難しい質問も出ましたが、志和地先生にお答えいただき、皆、満足の表情です。最後に、志和地先生のお友だちから全校児童にマンゴーのプレゼントがあるということを教えていただいた子どもたちは、びっくり。

そして5月19日(金)、農大稲花小にトラックで1000個近いマンゴーが届けられました。東京農業大学の卒業生(校友)で現在、Gorilla Intelligence LLC社長の山崎忠様のご厚意によるものです。山崎様からは1昨年に続いてのプレゼントを頂くことになり、心から感謝申し上げます。

この日、タイから航空機で届いたマンゴーをGorilla Intelligence社の社員の皆様や志和地先生の研究室の学生さんたちが、2個ずつ素敵な布袋に仕分けてくださいました。品種はマハノチャック(Mahachanok)です。陽に当たると赤く色づくことから、「タイのアップルマンゴー」とも呼ばれているそうです。山崎様からはマハノチャックについての説明文や動画も送っていただきました。この週末、子どもたちはおいしくマンゴーを味わったことでしょう。1、2年生の保護者の皆様には、お子様からミニ食育講義の様子も聞いてみていただくようお願いします。子どもたちの感想を聞くのも楽しみにしています。

Gorilla Intelligence 合同会社

<http://www.g-intel.com/corporate/>



田植えに行ったよ

5月19日(金), 1年生全員はバスに乗って, 横浜市青葉区にある田んぼに行きました。東京農業大学の卒業生のご縁でお借りしている「田奈の田んぼ」で, 田植えをするためです

子どもたちはまず, 東京農業大学農芸化学科の加藤拓準教授, 横田健治教授, 犬伏和之教授, 食品加工技術センター野口智弘教授に, 田植えの方法, 苗の様子などについて教えていただきました。大学の先生方の説明をしっかりと聞いた後, 大学院生の皆さんの応援を得て, 子どもたちはあぜ道を歩き, 田んぼに入っていきます。田んぼのオーナー野路様が, 水深を浅めに設定してくださいましたが, 歩きやすいとはいえません。子どもたちは臆せず, しかし慎重に田んぼに入りました。そして, 教えられたとおり, 苗を手を持って植え, 植えたら後ろに下がる, 植える, 植えたら後ろに下がる, を繰り返して無事に田植えを終えました。

田植え後の子どもたちは誰もが泥んこです。田んぼでしりもちをついてしまい, ズボンや両袖が泥んこになった子もいました。田んぼから上がった子どもたちは用水路の流れに足を浸し, 靴下や手足を洗いました。洗った靴下が絞れない子ども, しっかりと手足が洗えない子どももいましたが, 多くの子どもたちは身支度を自分でしてバスに乗ることができました。

帰校後の振り返りでは, 泥の感触, 自分で苗を植えた楽しさ, 用水路の水の冷たさ, などそれぞれの思いを書くことができました。五感で味わった田植え, 子どもたちの記憶に残ることでしょう。



学校見学会

5月20日(土)および21日(日)、農大稲花小の学校見学会が行われました。この秋に本校受験をお考えの年長児とその保護者の皆様が対象です。本校では学校説明会などをオンラインで行っているため、入学試験前に校内の様子をご覧いただく機会はこの学校見学会だけです。

朝9時開始の第1部から午後3時40分開始の第5部まで各部120組、合計600組の定員がほぼ満席の2日間で、合計約1200組のご家族をお迎えしました。皆様にはそれぞれ、事前に配付した学校案内画像をご覧になりながら、見学していただきました。

小雨が降った時間帯もありましたが、概ねは天気にも恵まれた見学会となりました。帰路はグラウンド経由ということで、子どもたちも楽しそうに歩いたり、走ったりしていました。ご参加の皆様、お出かけどうもありがとうございました。

教員研修会

日本私立小学校連合会は「私学は一つ 教育は私学から」の合言葉のもと、初等教育の発展と私学振興のために活動する団体です。2023年4月現在の加盟校数は195校に上り、本校も2019年の創立時より会員となっています。

この連合会の令和5年度東京地区教員研修会が、6月2日(金)に明星小学校(東京都府中市)を会場として開催されます。この日、東京都にある私立小学校は休校となり、全教員が一堂に集って研修を致します。本校でもこの日を休校とし、全教員が終日の研修に参加します。そして、研修の成果を稲花小学校の教育に反映できるよう努めてまいります。休校について保護者の皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

東京農業大学稲花小学校
校長 夏秋 啓子